

(臨床研究に関する公開情報)

相模原病院では、下記の臨床研究を実施しており、「●対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 気道アレルギーの原因真菌スエヒロタケの新規同定手法としての Cu-PAN 試験紙

[研究責任者] 臨床研究センター 臨床研究推進部長 福富友馬

[研究の背景]

スエヒロタケはわが国のアレルギー性気道疾患患者さんの気管支に住み着くことが多い真菌（カビ）として知られています。しかし、このカビは外観の特徴があまりないため、一般的なカビ培養検査で見つけることは難しく、これを見つけるには遺伝子検査が必要だとされています。本研究は、このカビを見つけるための新しい方法を開発することです。Cu-PAN 試験紙はこのカビが出す硫化水素というガスを検出することによりこのカビを見つけることができることが明らかになってきています。

[研究の目的]

カビ培養検査時に用いる硫化水素に対する検知法 Cu-PAN 試験紙が、スエヒロタケをみつける方法として、どのくらい役に立つのかを明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2024年3月以降にアレルギー・呼吸器科で、痰などのカビの培養検査を行った患者さん

●研究期間：2024年6月18日から2027年6月30日

●利用するカルテ情報と検体

カルテ情報：

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、合併症、治療内容など）
- ② 血液所見、胸部レントゲン・CT 検査所見、肺機能検査結果
- ③ カビ培養検査実施日、培養結果等

検体：痰などのカビの培養検査により得られたカビや微生物を利用し、詳細に種類を同定する解析を行うことがあります

●検体や情報の管理

培養検査により得られたカビは、個人を識別できないように匿名化されたあと、千葉大学真菌医学センターに配送で提出し、遺伝子解析されることがあります。測定後は5年

[研究組織]

この研究は、他施設との共同研究で行われます。

- 研究代表者（研究の全体の責任者）：国立病院機構相模原病院（代表 福富友馬）
- その他の共同研究機関（責任者氏名）：
 - 東海大学医学部 内科学系呼吸器内科学（浅野 浩一郎）
 - 帯広畜産大学畜産学部（豊留 孝仁）
 - 千葉大学 真菌医学研究センター（矢口 貴志）
 - 東海大学理学部化学科（関根 嘉香）

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける被験者リストを当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。被験者リストは、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

検体や情報は、当院の研究責任者及び検体の提供先である千葉大学真菌医学センターが責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[研究の参加について]

この研究への参加（培養から得られたカビやカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡いただくか研究参加拒否書に署名し、日付を記入して研究責任者等に渡してください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によってはこの研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構相模原病院 臨床研究センター 臨床研究推進部長 福富友馬
電話 042-742-8311（代表） FAX 042-742-5314